

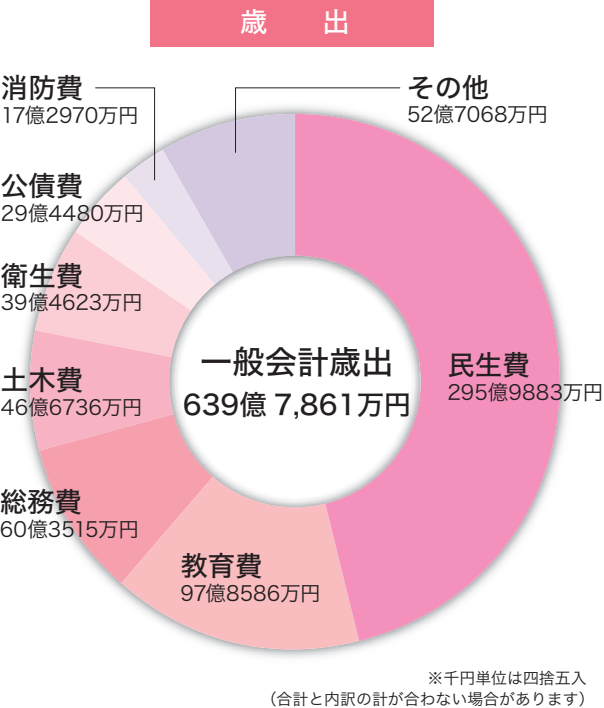
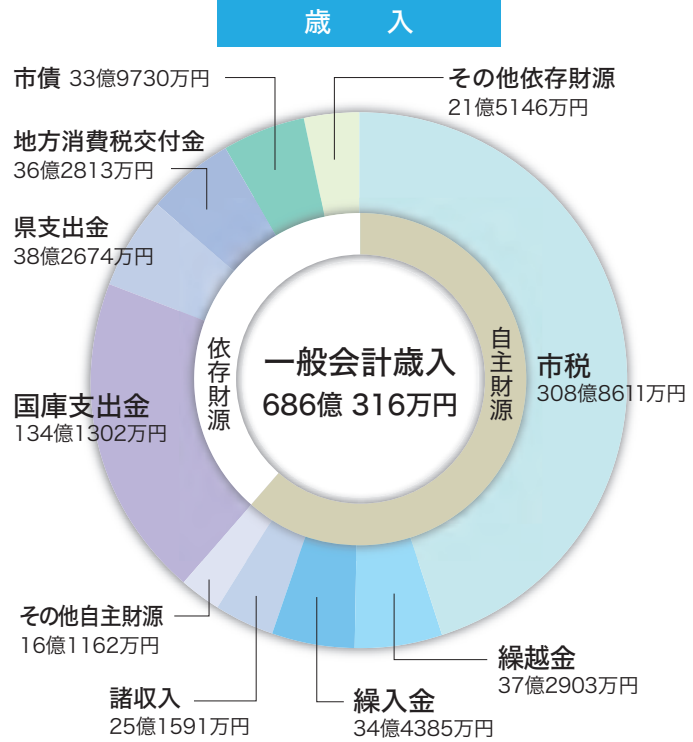


主な議案

今定例会では、令和 6 年度決算を含め、市長提出議案などが 33 件提出され、いずれも認定・可決されたほか、委員会提出議案として 4 件が提出され、審査の結果すべて可決されました。また、請願・陳情については、1 件が採択、1 件が趣旨採択、1 件がみなし採択、1 件が不採択となりました。ここでは、決算の概要と主な議案を紹介します。

令和 6 年度決算を認定！

令和 6 年度一般会計決算では、前年度と比較して歳入が 6.8%、歳出が 5.8%の増加となりました。市税が前年度と比較して、約 7 億 800 万円増額していますが、市民税および固定資産税の増加が主な要因の一つとなっています。歳出を占める割合では、社会福祉に関する費用である民生費が 46.3%で最も多く、教育費が 15.3%と続いています。



定例会初日には、代表監査委員である小川千恵子氏による監査報告が行われました。

一般・特別会計、上下水道事業会計は、いずれも健全財政を堅持

小川代表監査委員

令和 6 年度 健全化判断比率			
比率	名	令和 6 年度	令和 5 年度
実質赤字比率		— (11.68)	— (11.71)
連結実質赤字比率		— (16.68)	— (16.71)
実質公債費比率		7.8 (25.0)	8.2 (25.0)
将来負担比率		23.1 (350.0)	18.1 (350.0)

①()は財政の健全化が必要とされる早期健全化基準を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」表示となります。

特別会計決算

歳入	235 億 5,947 万円 (前年度比 0.5%増)
歳出	228 億 1,632 万円 (前年度比 3.4%増)

水道事業会計決算

収益的収入	26 億 3,831 万円
収益的支出	24 億 3,497 万円
資本的収入	9,553 万円
資本的支出	11 億 6,856 万円

下水道事業会計決算

収益的収入	26 億 6,902 万円
収益的支出	23 億 6,370 万円
資本的収入	51 億 5,111 万円
資本的支出	58 億 4,793 万円

※千円単位は四捨五入

一般会計

認定第 1 号 令和 6 年度戸田市一般会計歳入歳出決算認定について
令和 6 年度 一般会計決算を認定

認定 (賛成 14 人 反対 9 人)

反対

保守の会
河合 ゆうすけ 議員



法的根拠のない外国人への生活保護の見直しや、システム保守、公共工事などのコスト削減、子育て支援のさらなる拡充などを求める。

反対

日本共産党戸田市議団
むとう 葉子 議員



財政が豊かでありながら歩行補助つえの自己負担額を引き上げている。また、基金への積立が過剰であり、物価高騰対策に活用すべき。

反対

政策 TODA
遠藤 英樹 議員



ふるさと祭り中止の返金対応、文化会館の運営費用、委託料の過年度支出、多発する入札不調などの課題に対する改善を求める。

賛成

戸田の会
酒井 いくろう 議員



外国人への生活保護、ふるさと祭りの返金対応などは、不認定の理由として適当ではない。将来に備える基金への積立は妥当な範囲。

特別会計

認定第 2 号 令和 6 年度戸田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
令和 6 年度 国民健康保険特別会計決算を認定

認定 (賛成 20 人 反対 3 人)

反対

日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員



賦課限度額の引き上げに反対。国民健康保険税での制度維持は限界があり、国庫負担の増加や一般会計からの繰り入れが必要。

賛成

戸田の会
辺見 智子 議員



国民健康保険の赤字解消と財政安定化は大きな課題。高所得者に応分負担を求める一方、低所得者へ配慮し、負担の公平性と軽減を両立している。

特別会計

認定第 8 号 令和 6 年度戸田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
令和 6 年度 戸田市介護保険特別会計決算を認定

認定 (賛成 20 人 反対 3 人)

反対

日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員



第 9 期介護保険事業計画により被保険者の負担が増えた。一般会計から繰り入れをしてこれ以上の値上げを避けるべき。

賛成

戸田の会
矢澤 青河 議員



保険料改定は事業費増加によるもの。基金活用で急激な負担増を抑制している。低所得者への配慮と制度の持続可能性を考慮しており妥当。

条例

議案第 71 号 戸田市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
助成対象者の拡大及び一部費用に係る助成の見直し

原案可決 (賛成 19 人 反対 4 人)

反対

日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員



入院時の食事療養費標準負担額等の助成廃止は条例の目的に反する。当事者とその家族を支えるため、助成の継続を強く求める。

賛成

戸田の会
辺見 智子 議員



新たに精神障害者保険福祉手帳 2 級所持者が対象追加。入院時の助成は国による軽減措置がすでにあることや、在宅者との公平性から見直しは必要。